

東北復興支援事業

道で咲かせよう
東北の花

活動報告会

令和3年8月5日

目次

1. 「道で咲かせよう東北の花」プロジェクトとは
2. 花プロ事業の発足
3. これまでの取り組み
 - (1) 連携団体の拡大
 - (2) 資材の提供
 - (3) 広報活動
 - (4) これまでの歩み
4. 令和3年度 復興五輪版の実施
5. 最後に



1. 「道で咲かせよう東北の花」プロジェクトとは

【目的】

- ・花を通じた東北被災地の復興支援、潤いある道路空間の創出、東北と東京の地域間交流

【連携自治体・団体数(令和3年度)】

- ・東北3県10自治体57活動団体

【活動内容】

- ・活動団体へ園芸資材及び種子を提供
- ・東北の花苗を活用し、新宿副4号線プランターへの定植や定植イベントを実施
- ・都立農業系高校の協力を得て、新宿副都心4号線プランターに生徒が育てた花苗を定植

【活動の効果】

- ・資材提供により、被災地の経費負担軽減
- ・花を通じた活動により、地域コミュニティの再生
- ・道路を花で飾り、街の緑化に貢献 等



1. 「道で咲かせよう東北の花」プロジェクトとは

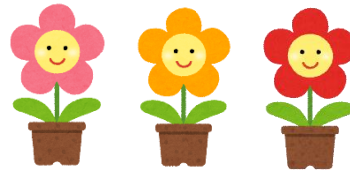
年間を通じた花プロの活動イメージ

1～3月 (資材提供)



10月～12月 (秋定植)

4月～6月 (育苗)

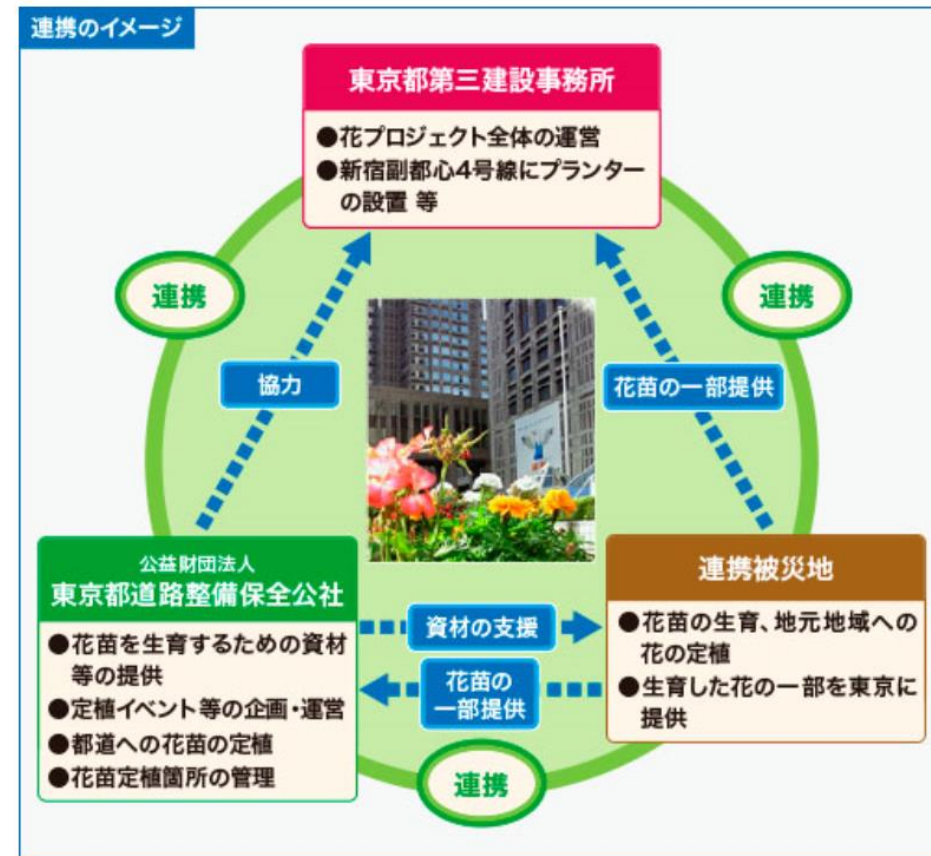


7月～9月 (夏定植)



2. 花プロ事業の発足

花プロは、平成25年6月、東京都第三建設事務所が、都庁通りの花壇を花で彩ることを検討していた際に、石巻市石巻中央公民館が実施している「生き生き花プロジェクト」において園芸資材が不足していることを知り、東京都道路整備保全公社を通じ園芸資材の提供を行いました。その後、東北被災地の方が育てた花が東京へもたらされ、都庁通りの花壇を彩ることとなりました。



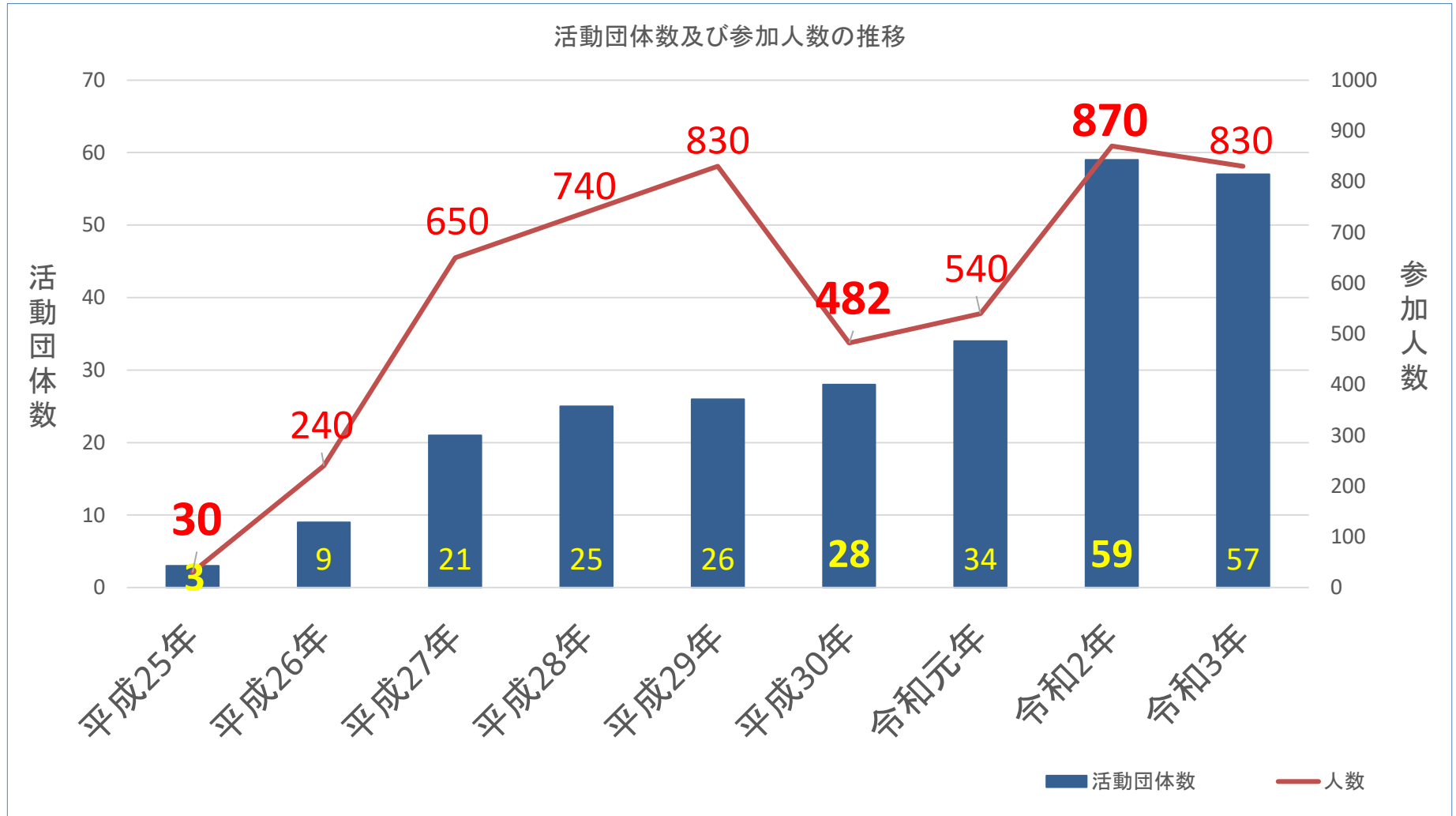
2. 花プロ事業の発足

東京都に定植された花苗の様子



3. これまでの取り組み～連携団体の拡大～

○連携団体の拡大



活動の輪が地域に広がり、多くの方が交流を図りました。

3. これまでの取り組み～資材の提供～

○資材の提供数量の推移

資材提供	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	累計
培養土	300袋	763袋	1,421袋	1,366袋	1,074袋	1,122袋	1,484袋	1,770袋	1,228袋	10,528袋
肥料		54袋	292袋	102袋	12袋	144袋	404袋	443袋	251袋	1,702袋
プランター	500個	535個	1,184個	850個	577個	380個	410個	600個	400個	5,436個
種子			298袋	45袋	350袋	362袋	656袋	3,922袋	939袋	6,572袋



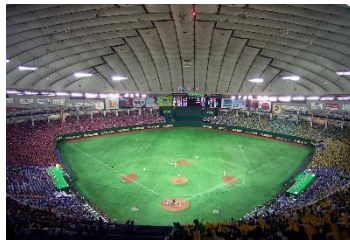
ジャンボジェット
約2機分！

=

1袋25kgなので..
約260トン！

○生育した花苗数量の推移

生育花苗	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	累計
花苗	4,480株	8,460株	16,920株	11,380株	13,440株	13,660株	16,760株	26,590株	20,795株	132,485株



東京ドーム
グラウンド面積超え！
(約13,000㎡)

=

1㎡9株定植..
約14,720㎡！

これまでたくさんの花苗を都道や各地域に定植し街を彩りました！

3. これまでの取り組み～広報活動～

○花プロの広報活動

①夢のみち事業

夢のみち事業とは、道路行政への理解関心を深めることを目的とし、「ポスターコンクール」「イベント」「フォーラム」「親子体験ツアー」の4つから成る事業です。

【イベント】

イベントは、新宿駅西口広場イベントコーナーで実施し、道路関連企業によるワークショップブースや、タレントやパフォーマーが盛り上げるステージイベント等により、毎年多くの方が参加されます。※2019年度：延べ22,000人来場

会場内に復興ステージや花プロ専用ブースを設置し、東北のPR活動を行いました。



3. これまでの取り組み～広報活動～

【フォーラム】

フォーラムは、道路行政に関しご尽力頂いた方を表彰する式典です。また、地域の活動を発表する機会を設けており、東北の自治体様にも、東北の状況や取り組みを発表頂きました。



②その他

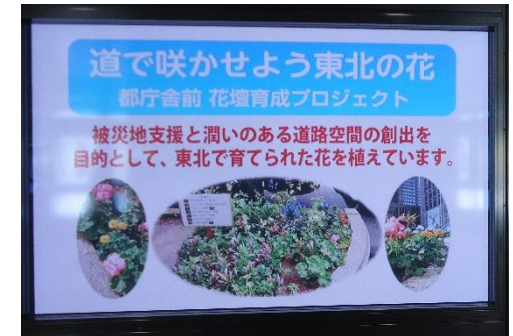
【TR-mag】



【プランター看板】



【TIS】



3. これまでの取り組み～これまでの歩み～

平成25年度

6月から東京都、公社、石巻中央公民館の3者で花プロジェクト事業開始。公社から東北へ資材を提供し、東北で花苗を育て、その花苗の一部の提供を受け、東京都が都庁前花壇へ定植を行いました。

また、事業の拡大やPR強化のため、夢のみち事業内でパネルの設置やチラシの配布等行いました。さらに、新宿駅西口のTISでの事業紹介や、プランター・植栽帯への看板を設置し、広報活動を行いました。



平成26年度

新たに、岩手県沿岸広域振興局、福島県いわき建設事務所、福島県いわき市が参画しました。東京では、定植箇所を拡大し、新宿副都心4号線歩道上に設置するプランターへの定植を開始しました。

夢のみち事業では、東北の学生を対象とした標語・絵画コンクールを行いました。また、フォーラムでは岩手県沿岸広域振興局が花を通じた地域の活動を発表しました。

3. これまでの取り組み～これまでの歩み～

平成27年度

新たに、岩手県宮古市、宮城県教育庁高校教育課が参画しました。

この年、東北で生育した花苗は約17,000株、東京へお送り頂いた花苗は2,000株となり、東北各地や都道を彩りました。

夏に実施する夢のみち事業や定植イベントには多くの都民が参加しました。フォーラムでは、福島県いわき建設事務所が、復興に向けた街並みを花で彩るための活動を発表されました。



平成28年度

新たに、岩手県沿岸広域振興局大船渡土木センターが参画しました。

地域では、これまでの経験を活かし、発芽率の向上や、よりきれいに咲かせるための工夫の話合いが活発に行われ、花を通じたコミュニティの活性化が図られました。

夢のみち事業のイベントでは、花プロの専用ブースを設け、親子中心に多くの方が参加しました。

3. これまでの取り組み～これまでの歩み～

平成29年度

地域では、これまで育てたことがない花苗の育成を始めるなど、新たな取り組みにチャレンジする団体が見受けられました。

東北から提供された花苗は2,100株を超え、夢のみちポスターコンクールの受賞者や、イベントに参加された方により、都道やプランターに定植されました。

定植イベントでは、著名人が参加され、多くの方が参加し盛り上がりました。



平成30年度

福島県いわき市アクアマリンふくしまにおいて世界水族館会議が開催され、花プロ事業に係る取組として会場周辺を東北の花で彩りました。

また、夢のみち事業における新たな取り組みとして、復興ステージを実施しました。復興ステージでは福島県いわき建設事務所が、アクアマリンふくしまの取り組みや被災地の復興状況などを発表しました。

3. これまでの取り組み～これまでの歩み～

令和元年度

新たに、福島県県北建設事務所、福島市が参画し、東京2020大会予選会場となる福島県営あづま球場周辺を花で彩るための新たな取り組みを開始しました。当該事業は、復興支援への感謝や花プロの集大成として位置づけ、各地域が団結し活動が活性化しました。

夢のみちでは、縁日の開催やお笑い芸人等の誘因策により、花プロブースも大盛況となりました。フォーラムでは福島県県北建設事務所が、あづま球場に関する取組や福島県の復興状況等を発表しました。



令和2年度

これまでの、各自治体への事業紹介やPRなどにより、活動団体は59団体となりました。

一方で、新型コロナウイルスの蔓延により、東京2020大会予選会場周辺を花で彩る取り組みは、2021年度に延期となりました。各地では、3密を防ぎ感染対策を講じた上で花苗を育成し、地域を彩りました。また、2021年に向けた取り組みの一環として、公社から福島県に花苗を提供しました。

4. 令和3年度 復興五輪版の実施

花プロ復興五輪版は、花プロ事業に携わった被災地連携自治体・活動団体の活動の集大成として、また、2020年東京大会の会場を花で彩りおもてなしをするとともに、活動に係るまとめを行い団体同士の交流に資すること等を目的に、東北3県(岩手県・宮城県・福島県)と公社が連携して行う事業です。

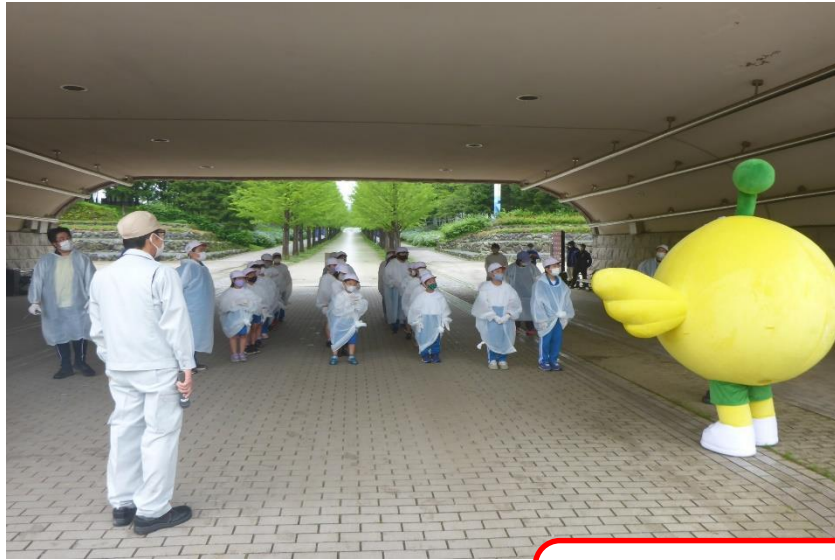
当初計画では、東北3県及び公社が一堂に会し、福島県現地でのあづま総合公園定植イベント、活動報告会などを予定しておりましたが、新型コロナウイルスの蔓延状況を鑑み、以下のとおり、**計画を変更**しました。

- ①あづま総合公園円形花壇の定植※球場周辺の地元の方のみ
- ②各地の定植
- ③WEBを活用したオンライン活動報告会



4. 令和3年度 復興五輪版の実施

あづま総合公園円形花壇の定植 [定植の様子①]



7月5日
地元小学生
約110名が参加



一生懸命
定植しました！



きれいな花苗が
会場を彩ります

4. 令和3年度 復興五輪版の実施

あづま総合公園円形花壇の定植 [定植の様子②]

各地からたくさんの花苗が届きました！総数はなんと、
約17,000株！



地域の方にも
ご協力頂きました



各団体のガーデン
タグを設置

5. 最後に

これらの活動は現在公社ホームページの「夢のみち」及び「道で咲かせよう東北の花」ページで紹介しております。

現在、公社ホームページにおいて、「夢のみち」オンラインイベントを開催しており、豪華景品が当たる抽選会や親子で楽しめる動画配信等行っておりますので、ぜひご覧ください！



5. 最後に



ご清聴ありがとうございました。